



図書館の机にアクリルの仕切り板が設置され自習が可能な環境になりました。ゆっくり読書もできますよ。

図書室で自習ができるようになりました

司書が図書室にいないときの本の借り方

カウンター前に設置してある貸出簿に必要事項を記入してから本を持ち出してください。図書館の外に本を持って出るときは学校内だとしても必ず記入してください。

新しい本

このほかにもたくさん入ったので図書館に見に来てください

「逆ソクラテス」伊坂幸太郎
小学校を舞台に巻き起こる数々の「答えのない問題」に対して彼らは挑む。簡単ではない現実に向かい逆転する。敵は先入観！

「medium」相沢沙呼
難事件を解決してきた推理作家が心に傷をおったと霊媒の女性と出会う。ミステリー。

「勿忘草の咲く町で」
夏川草介
命の尊厳とは。高齢者医療の現実を描いた、感動の医療小説。

「流浪の月」
凧良ゆう
愛情ではない。新しい人間関係への旅立ち。本屋大賞受賞。

「ライオンのおやつ」
小川糸
余命を知った主人公は、島のホスピスを選ぶ。食べること、生きることを描き出す。



「殿、それでは戦国武将のお話をいたしましょう」山崎光夫
貝原益軒『朝野雑載』に記された戦国武将に関する興味深い逸話を素材とした「戦国コント（小話）集」

夏の特別貸し出し

7月20日(月)～7月31日(金)

の貸し出しは

貸出冊数上限なし、期間中に借りた本の返却はすべて始業式の日(8/18)とします

注:借りている本をすべて返却してください。まだ読めていない本がある場合は期間中に借りなおしてください。

特典:ポイント3倍

夏休み中は8月4日(火)と7日(金)開館します。

むかし読んだ本・最近読んだ本

山本紳二先生

「飛ぶ教室」ケストナー

(内容) 同じ寄宿舎で生活する5人の少年。クリスマスシーズンに起きるさまざまな事件を少年たちが解決していく。友情を育み大人たちに見守られながら成長していく感動の物語。ドイツの作家エーリヒ・ケストナーの著。

(山本先生)

「小さいころに読んだ時にはピンとこなかったんだけど、今大人になって改めて読んだら、ちょっとうろっときてしまいました。読み直してみたらいい本だったな、と。」